



vol.68

御殿場市観光協会事務局長

観光スポットの

価値や魅力を見つけ出し

御殿場を全国へ発信



勝間田 太郎さん
(萩蕪)

初めて公募によって御殿場市観光協会のお事務局長に選ばれたのが、勝間田太郎さんだ。この公募は、民間企業などで豊富な経験を積んだ人材を招き、市観光業の活性化を図る目的で行われた。

勝間田さんは、これまでIT企業や出版業界に携わってきており、企画・マーケティングなどに精通している。「自ら企画を持ち込み、売り込む」ということで、今回の面接時にもそのアピール力を発揮した。

一見物静かな人に見えるが、実際話してみると、この仕事に対する情熱がひしひしと伝わってくるほどにアイデアが尽きない。周りの人に勝間田さんの印象を聞いてみても、「とにかくアツい人」と、口をそろえる。観光振興について、勝間田さんは

「各観光スポットの価値や魅力を作り出し（見つけ出し）、それを人々に理解できる形で提示することが大切」と語る。御殿場の事業者は大変優れている。しかし、その価値や魅力を十分に伝え切れていないという。

外部に向けて今以上に宣伝していくうえで、費用対効果に優れているのはインターネット。例えば、飲食店を紹介するには一般的な説明文ではなく、料理の大きな写真や実際行った感想などを交えて、個人のブログ風な視線を交えて紹介していく。それを集めてインターネット上に「御殿場グルメ街」というバーチャルな街を作ってもよい。

あるいは、物づくりイベントを「夏休みの工作・お助けツアー」と言い換えるだけでも新たな参加者の掘り起こしは可能と提案する。アイデアは具体的だ。今ある物はそのままに、わかりやすく、そして魅力的に伝える工夫をするだけでも効果はあると話す。

「行政では、やりたくてもできないことが限られている。そこで、できないことを観光協会がやる」と、市との連携を図り、より一層の市内への観光客の「訪問」・「滞留」の促進を図る。

任期は2年間。先日オープンした「富士山樹空の森」を生かした「観光ハブ都市」実現の具体的提案もおこなっている。今後の観光の歩みが楽しみだ。



我が家のアイドル



勝間田 巨くん（1歳6カ月）

父・泰彦さん/母・真知子さん（北畑）

いつも2人の（たまき・まりな）お姉ちゃんにチャホヤされて、一緒になって遊んでいます。



芹澤 史栞ちゃん（1歳1カ月）

父・拓巳さん/母・直美さん（茱萸沢上）

お話が大好きな元気いっぱいの子です。ただいまあんの練習中♪

※現在「我が家のアイドル」は応募者多数のため、掲載まで長期間お待ちいただいております。

市の人口

4月1日現在
(外国人登録を含む)

合計 89,843人 (前月比△338人) 男 45,862人 女 43,981人
世帯数 34,531世帯 (前月比△34世帯)

障がいのある人のための、カセットテープと点字による「広報ごてんば」もあります。問い合わせ/社会福祉課 ☎(82) 4238

この広報紙は、再生紙を使用しています。